

気をつけよう！感染症（令和6年第2号）

令和6年8月7日発行
松本市保健所保健予防課



レジオネラ症に注意！！

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症です。令和5年は松本市内で8件の発生があり、令和6年も発生しています。高齢者や乳児、免疫機能が低下している人は肺炎を起こす危険性が高いので、注意が必要です。適切な予防策でレジオネラ症の発生を防止しましょう。

レジオネラ症とは？

レジオネラ属菌は、水中や土壌中などに生息している細菌です。身の回りでは、循環式浴槽や建物に設置されている冷却塔、加湿器などが衛生的な管理をされない時に繁殖します。

【症状】

2つのタイプに分かれます

レジオネラ肺炎：高熱、呼吸困難、吐き気、意識障害など
急激に重症になり死亡することもある

ポンティアック熱：発熱、頭痛、筋肉痛など
一般的に軽症で、数日で治ることが多い

【感染経路】

主にレジオネラ属菌を含むエアロゾル（目に見えないような細かい水滴）の吸入などによって、細菌に感染して発症します。

ヒトからヒトへ感染することはありません。



～ 感染予防のためにできること ～

- ①ぬめりを発生させない
- ②菌を増やさない
- ③吸い込まない

衛生管理が不十分な浴槽や配管などにつくぬめりは、栄養分が豊富で、塩素などの消毒薬や紫外線から保護されるため、微生物の増殖に適した環境です。レジオネラ症を予防するためには、レジオネラ属菌の増殖を防ぐことが重要です。

【お風呂】

- ・体の汚れを落としてから入りましょう。
- ・お風呂のお湯は毎日取り替え、浴槽の清掃を行いましょう。
- ・循環式浴槽（追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など）の場合、浴槽や配管にぬめりが生じないように定期的に洗浄し、取扱説明書に従って維持管理しまししょう。
- ・お風呂のお湯をシャワーに使用しないようにしまししょう。